

6月7日告示、16日投票

# 沖縄県議選

# 予定候補者紹介



【プロフィール】 沖縄大学卒業。沖縄協同病院勤務を経て、那覇市議3期。現在県議3期目

# 平和を次世代につなぐ

日本共産党

復帰を果たした先輩たちのたたかいを学び、憲法のいきる沖縄を実現したいと入党しました。平和を次世代につなぐためにさまざまな条例などを提案し玉城デニー県政を支えます。

戦争の悲惨さを伝えるため同地域を戦跡として唯一の国定公園とした先人の思いを知りました。沖縄戦の記憶を風化させず、遺骨土砂の不使用にもつながる新条例を提案。県も検討を約束しました。

が払われるよう労働組合とともに公契約条例の改善に取り組み、賃上げする企業には入札で評価する総合評価方式での加点を提案。女性の非正規雇用率が男性の2・1倍にも上ることから、雇用にもジェンダーの視点が必要と訴え、賃上げで全国を大きく下回る県民所得の向上を、と呼びかけます。

## 那覇市・南部離島党区(定数11) 比嘉みずき 予定候補(49) 現

沖縄、南西諸島の民間空港・港湾の軍事利用を日米が狙う動きの中、下地島空港(宮古島市)の軍事利用を阻む根拠となっている琉球政府時代の文書「屋良覚書」の条例化を提案。「条例のように根本的なところでくさびを打ち、自公政権に対し『沖縄を二度と戦場にさせない』と示したい」と力を込めます。

街頭では党の経済政策や沖縄振興策もアピールします。公共事業で適正な賃金が払われるよう労働組合と

初当選は2014年、県知事選と同日投票となった県議補選(定数1)に無所属で立候補し、翁長雄志知事(当時)とともに勝利しました。「県民が力を合わせ『オール沖縄』の誕生と共に歩んできた議席。必ず守り抜く」(しんぶん赤旗 2024年3月23日より)

街頭では党の経済政策や沖縄振興策もアピールします。公共事業で適正な賃金を